



大報 おおおじね

昭和44年3月25日 No. 191
編集と発行 鹿兒島県肝属郡大根占町役場
総務課 文書広報係
(電話 大根占局 1・69・254番)
印刷 逆瀬川印刷所 (電話 140番)
昭和44年2月1日現在推計人口
町の人口 男 5,450人 計11,747人
女 6,297人
前月より39人減



町の振興大会が三月七日に大根占小学校屋内運動場でありました。
この振興大会は、従来農業中心であったものを昨年からその形式を改めて、一年間の町政の「しめくり」的なものにしてまいりましたが、まだ十分でなく、本年度は農業に関するものほか、納税関係、清掃関係、社会教育関係の表彰や、個人表彰も一し

- ### ※体験と構想の発表
- 1、神川中部落上玉利都男君
神川中学校を卒業して県外へ就職したが、家庭の都合で帰郷することになり、農業にとりくみながら、四十三年度の農村青年建設班に入って研修を重ねるうちに、農業後継者としての使命をなお一層認識して、今後の経営改善をめざしている。
- 2、神川上部落 小園増広君
農業構造改善事業で丸尾地区に、ほんかん園造成のため基盤整備一七・三八ヘクタール、共同防除施設一三ヘクタール、その他付属施設が完了したので、生産組合の一員として、今後共同して主産地を育成するについての構想を述べたもの。
- 3、笹原部落 馬込澄男君
四十三年度の先進地農家留学研修生として、県から派遣
- ### ※項目別表彰
- 1、営農集団
大久保みかんグループ、岩元畜産グループ、命苦畜産グループ、神川稲作グループ
- 2、学習集団
木場婦人会グループ、神川婦人会グループ
- 3、たばこ作の部
宿利原総代区、笹原総代区
- 4、みかん幼樹園の部
一等、永田道徳(鳥浜) 二等、小原正吉(鳥浜) 赤石つみ(鳥浜) 三等、真戸原義夫(大久保) 坂下盛夫(鳥浜)
- 5、果実品の部
一等、坂下盛夫(鳥浜) 二等、大久保元(大久保) 皆倉俊夫(皆倉) 三等、前田正久(鳥浜) 真戸原義夫(大久保) 6、きぬざやえんどの部
一等、川越重則(大橋上)
- 7、養蚕の部
優良桑園
一等、鮫島春夫(才原) 二等、秋元繁(神川中原) 三等、山下達夫(大尾) 田中重信(大尾)
- 年間優良蚕
一等、上玉利俊(落河) 二等、秋元稔(神川中原) 三等、鮫島節(才原) 黒瀬道夫(才原) 年間多収穫
一等、田中重信(大尾) 二等、上玉利俊(落河) 三等、上玉利静夫(落河) 鮫島春夫(才原)
- 8、たばこ作の部
総収納代金
一等、安水映熊(安水) 二等、飯屋虎二(川北) 遊喜優(瀬戸山) 安水ミツ(安水) 三等、安水茂助(安水) 内園為雄(麓) 押領司友善(川北) 十アール収納代金
一等、横山真(塩屋) 二等、堀之内九二郎(山之口) 三等、松元茂(塩屋)
- キロ当たり収納代金
一等、白井三郎(白井) 二等、宮川ヒデ(神川上) 三等、諏訪原八郎(神川中) 段平(段中野) 木下才二(川北)
- 9、畜産の部
優良牛生産(高等登録牛)
森満清彦(神川上) 松下政一(神川上) 中保道夫(皆倉) 磯脇繁(宿利原) 赤石テル(鳥浜) 湯之口貞夫(神川中原) 園田休三(神川中原) 永山
- 金賞、福岡ちづ子(上之宇都) 銀賞、福岡ミツエ(上之宇都) 銅賞、今徳スミエ(麓) 宮下ふさえ(上之宇都) 福岡ムツ子(上之宇都)
- 12、納税組合の部
十五年継続完納組合

四十三年を振り返って 町振興大会より

講演「二十年後の鹿兒島」も

当日は、町長のあいさつがあつてから神川中部落上玉利都男君の「農業後継者として農村青年建設班の役割について」、神川上部落小園増広君の「丸尾地区におけるほんかん園の未来像について」、笹原部落の馬込澄男君の「和牛先進地研修を終えて」と題して、それぞれ体験や構想の発表があつた。

ついで、南日本新聞社論説委員酒匂順一先生より「二十年後の鹿兒島の経済について」と題して、約二時間にわたって、有意義な講演があつた。

このあと、各種の表彰があり午後三時終了しました。

そのあらましは次のとおり

され、二ヶ月間鳥取県の農家に住みこんで、和牛の飼育管理について実地に体得し、先進地として学ぶべき点、また畜産だけでなく「農業そのものに取組む意欲に驚いた」と二ヶ月の体験をおして教えられたことを発表している。

※講演 酒匂順一先生

南日本新聞社の論説委員としての立場から、県が昨年十月に発表した長期ビジョン「二十年後の鹿兒島」についてその内容説明と解説を試みられたもので、国全体の地域構造が急激に変化しつつある今日では、特性を生かした地域開発を進めるには、十年、二十年さきの長期展望にたつて発展の方向を見きわめることが、県はもとより市町村においても必要であることを述べておられました。

吉山藤己(鳥一區) 二等、東岩夫(麓) 坂下盛夫(鳥浜) 川越善一(大橋上) 三等、本坊貞二(山之口) 長元幹夫(鳥浜) 福永利秀(鳥浜) 中馬義弘(山之口) 木下登(寺前) 加塩正熊(鳥一區) 川越操(大橋上)

10、林業の部
しいたけ
一等、木下登(段中野) 二等、牧原文吉(牧原) 馬込洋海(笹原) 三等、小平市熊(半下石) 鈴辰己(笹原) 岡元秋彦(笹原)

きくらげ
一等、落河清志(大尾) 二等、押領司要(川南)

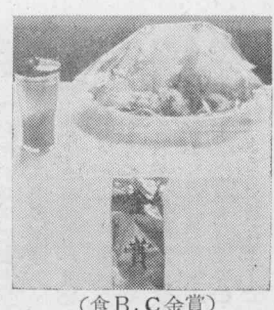
間伐造林
一等、後金光徳(六反田) 二等、森達志(瀬戸山) 三等、安水映熊(安水) 中道義弘(毛下)

11、生活改善作品コンクール
食A(一品料理)
金賞、なし、銀賞、今徳スミエ(麓) 久保たま子(宮脇) 銅賞、佐藤ヒロ子(弓場下) 食B、C(おやつなど)
金賞、今徳スミエ(麓) 銀賞

池水とし子(麓) 銅賞、久保たま子(宮脇) 崎田ムツ子(麓) 福岡ミツエ(上之宇都) 皆倉アツ子(皆倉)

衣
金賞、福岡ちづ子(上之宇都) 銀賞、福岡ミツエ(上之宇都) 銅賞、今徳スミエ(麓) 宮下ふさえ(上之宇都) 福岡ムツ子(上之宇都)

12、納税組合の部
十五年継続完納組合



(食B、C金賞)

上之宇都、山之口、木原、神
之浜一區、六反田、才原



各税納期前内完納組合
鳥井戸一區、同二區、同三區
神之浜一區、京町、中西、神
川新町、神川中、白井、安水
馬場中原、笑喜上、落河、岩
元、三師会
努力賞
鳥浜



(木を植えよう。議員の皆さん)

議員の皆さんが、このほど
町有林に植林をされました。
ところは、毛下部落の近く
(馬場猿越字)です。
どうも御苦労さまでした。
町有林が果す役目は大きく
土地保全はもとより、その立
木売却代金は町予算の大きな
収入財源となっています。
議会とされても、町の基本
財産造成にと、毎年率先して
植林に協力していただいてお
ります。

町の財産づくり

木を植えよう

(衣金賞)

注、三師会とは、医師、歯科
医、薬剤師の組合のこと。
13、清掃の部(一般清掃)
木場、蟹、大橋下の三部落
14、社会教育の部
町婦人会連絡協議会、町青
年団連絡協議会
15、特殊表彰
●長谷勇造氏
大正五年八月十五日大根占
電燈会に入社、九州電力株
式会社合併、昭和三十年七
月二十一日退社、五十三年間
電気工事に従事、その功績で
昭和四十三年四月二十九日に
勲七等瑞宝章を授与された。
●後登光徳氏
全国林業経営推進行事の主
業的林業経営の部で農林大臣
賞を受賞された。
●山元ハナ氏
助産婦として四十五年間従
事、貧困家庭には無料奉仕す
るなど、社会福祉事業に貢献
された功績で県民表彰をうけ
られた。

少年補導員は

次のかたがたです

大根占警察署管内の少年補
導員として、このほど、次の
六人のかたが委嘱されました
中浜鶴吉(弓場下) 吉元宗
太郎(神之浜二区) 吉永哲
郎(塩屋) 宮川正明(神川
上) 徳永 諭(神川中)
木下繁実(池田川南)
この人々は、青少年を健全
に育成して、非行防止につと
めるための相談員ですから、
問題児、または、事件が発生
したら、すぐに連絡して指導
を受けてください。

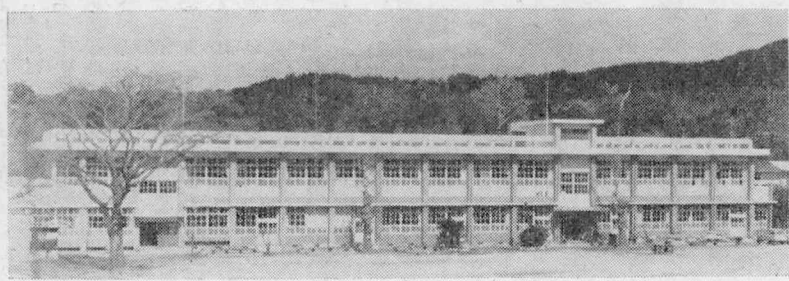


(特別出品 木場住宅活花グループ)

鉄筋校舎の落成

池田小学校で

池田小学校の校舎が、二か
年継続でつづいた鉄筋校舎と
して生れかわり、二月二十八
日に落成式の後、婦人会の
おどり、青年団の棒おどりな
どもとび出して、その喜びを
わかちあいました。



長期ビジョン二十年後のかごしま

国内の地域構造が著しく変化している今日では、特性を生かした地域開発を進めるには、十年、二十年さきの長期展望に立つて、発展の方向を見きわめることが要です。

そのような考えから、鹿児島県ではビジョン策定のため、四十二年九月県開発会議に原案の作成を依頼され、精力的に研究討議を重ねられた結果、四十三年十月によりやく成案をうるにいたつたものです。

このビジョンは、県民が念願する「豊かで意義ある生活」を実現するための、重点政策目標が掲げられ、このビジョンを推進するにあたり、近く県勢発展五か年計画を策定し発表されることになっています。

そこで長期ビジョンのあらましをお知らせして、町民の理解を深め、町としてのとりくみかたを考えてみたいと思います。

発展の方向として、四つの柱があります。

第一に、特性を生かした近代

的産業の展開

1、食糧基地をめざす高生産

農業

2、耕地の生産装置化

3、暖地園芸と畜産の大型産地

化

4、経営規模の拡大と新しい経

営者の創出

5、変わる流通機構

6、2、錦江湾、南方離島の大規

模観光開発

7、自然資源を生かした観光開

発

8、錦江湾大規模観光地帯

9、南方離島観光地帯

10、観光ルートの整備と自然資

源の保護

11、3、発展の起動力となる臨海

工業

12、中小企業の体質改善

13、近代的臨海工業地帯と工業

化

14、鹿児島湾臨海工業地帯

15、志布志湾臨海重化学工業地

帯

16、第二に、新しい地域社会の形

2、科学および産業教育、研
究開発
●科学および産業教育
●研究開発
3、労働に对应する生涯教育
●生涯教育の必要性
●社会教育の普及、産業人の
再教育
このように、四本の柱をもと
にして発展の方向づけをして
二十年後の鹿児島県の構図を
描き、さらに具体的に部門別
構想がまとめられています。
※大根占町としての受けとめ
方
今日のように、社会情勢や
地域のしくみが急速に変化す
る時代においては、将来を予
測することは極めて至難なこ
とですが、そうであるだけに
「ぶつつけ本番」でなく、確
実に将来を予測して、町政も
その方向に前進しなければな
りません。

そこで本町でも、四十四年
度の大きな事業として、近く
専任者を配置して、長期ビジ
ョンの策定にとりくむ予定で
す。県の長期ビジョン「二
十年後のかごしま」並に近く
公表される、県勢発展五か年
計画を基調にして、五年ない
し十年の長期計画と短期の
発展計画を策定することにな
ろうと思われまます。

次の子牛せり市は
次の子牛せり市は左記のと
おりです。
売人、買人、各々の立
場で、今から準備しておきま
しょう。
佐多市場
四月九日 二五〇頭
花ノ木市場
四月十・十一日 六七〇頭

お茶の景気がよくなっています

茶の栽培が一時不況の時期があったが、昭和四十年頃から緑茶の消費が伸びて現在は不足しており、従って価格も予想以上に良い。
そこで本町としても、今後甘しよにかわる作物として、他の作物と競合しない地域に農業経営の一作目として普及したい。

1、消費が伸びている理由

△生活様式の変化による消費世帯数の増加
△麦茶だけ飲んでいた東北地方が飲むようになった。
△食料品店、スーパー、農協スーパーなどの増加により、手近かに買える。

△ルームクーラーの利用が高まるにしたがって、夏でも茶の需要が平均している。
2、生産状況

茶の産地は、全国では静岡三重、鹿児島、京都、埼玉などで、本県を除く他県は工業化、都市化が盛んな地域で、今後は九州を除いては急に面積は増加しない。

一月の登録検査から

去る二月二十四日に、本年度第四期の和牛登録検査がありました。

花ノ木市場で県の和牛登録検査員によって行なわれましたが、その成績は次のとおり受検牛八六頭のうち

- 七七点級 二四頭
- (七七・〇〇～七七・九〇)
- 七六点級 三九頭
- (七六・〇〇～七六・九〇)
- 七五点級 十七頭
- (七五・〇〇～七五・九〇)

3、本県の茶園面積四・五〇

〇ヘクタール(本茶園二・二〇〇ヘクタール、畦畔茶園二・三〇〇ヘクタール)品種茶園二%で、昭和五十年までに一万ヘクタールを計画し、本県を茶の供給産地としていく。
4、以上のような状況に対して、本町でもここ二三年の技術向上及び施設普及により次の理由で他産地と十分競争できるものと考えられます。
△優良品種の普及により、早出し緑茶を中心とした栽培にする。

△品質的に問題がある地域とされていたが、クレモナ寒冷沙の普及により、本町でも良い茶が生産できます。
△本町の場合、肥培管理のやり方によつては、他産地より二割程度の増収ができます

5、茶園栽培は、肥培管理によつて農家の個人差が非常に大きい、本町の緑茶栽培者の十アール当り生葉手取り収入をあげると(成園で)

△在来種茶園
七三～七四点級 三頭
次回へ

そのおりに、検査員から指摘されましたことは、
△今回の受検牛は、資質的に問題があること、運動不足などに管理面の誤りによつて牛自体に力が足らない。
△本町では、さきの子牛せり市(二月三・四・五日)で、

はじめて種牡牛候補育成用のすぐれた子牛が二十六万円で売却されました。このようなりっぱな子牛が統々生産されるよう管理に努力してほしい

二・〇〇〇kg 十一万円

△在来種茶園(クレモナ利用

二・〇〇〇kg 十四万円

△優良品種茶園

二・〇〇〇kg 十四万円

郡内最高 十八万円

△優良品種茶園(クレモナ

二・〇〇〇kg 十七万円

郡内最高 二十四万円

6、将来の見通し

茶園面積は拡大しても生産量の増加は早急にはできないが、今後の価格見通しとしては四一五年は横ばいで進むだろう、その後の見通しは現在のところ困難です。

しかし、茶は東海道が主産地で、この地方は生産費が本県よりkg当り一〇〇円高く、そのほか価格的に下げられない種々の条件があります。

したがって、将来左記のような価格を予想して栽培する必要があるでしょう。

△現在の栽培品種の内訳は、在来種八五%、優良品種十五%くらいと推定されるので、最近良い茶の需要が多くなつており、在来種による茶は価格が下っていくでしょう。

したがって、優良品種にきりかえて良い茶を作ることが価格を維持することになります。

△茶栽培にあたっては、最少限左記の基準を見込んで取組むことが必要です。

優良品種茶園

生葉生産量 二・〇〇〇kg

手取り収益 九万円

生葉生産量 二・〇〇〇kg

手取り収益 十二万円

優良品種茶園(クレモナ利用

生葉生産量 二・〇〇〇kg

手取り収益 三万五千元

結び

本町の畑作において、いくら先行き不安とはいえ、甘しよを除くことはできないが、或程度は他に転換せざるを得ないと思われまふ。

そこで災害に強い茶の栽培が今後考えられるが、従来最も労力を要するといわれた摘採も、現在では機械などの改良普及により非常に労力も減少しています。(続次号へ)

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

こんにちは保健所です

大根占町の栄養教室のことに
ついてお知らせしましょう。

県では地方のすみずみまで
栄養改善をすすめるために
栄養改善推進員を育成して
います。毎日の食生活がただ
食べるということのみにとど
まらず、健康な毎日をおくら
れるように栄養の知識・衛生
の知識のうえにたつて食事
を作つてほしいのです。

栄養教室はこの
栄養改善推進員
の育成機関です
毎月一回大根占
町公民館の調理
室で実習をおこ
なっています。

四月に開校予
定で今その準備
期間です。

教室生三十四名町内の各部
落からの方が、いっしょに調
理し、いっしょに学び楽しい
一日をすごします。二年で卒
業となります。南大隅地区で
は根占町について設立で、今
後他の地区との交流をはか
りたして楽しい栄養教室にし
ようと思っています。

ちよつと計画表をご紹介します



ましよう。

◎農家の食生活と計画栽培

この日は農家の食事はど
んな風に改善したらよいか。忙
がしい時の調理は、野菜は何
が栄養価の高い作物でどうし
たら栽培できるかなど。

◎子供の栄養と食事

乳児は、幼児は、学童は、
一番何の栄養が不足している
のか。どんな調理がいいのか
など。

栄養教室は今
後つづきます。

時には教室生
の方にいろいろ内
容等を問いかけ
てみてくださ
い

※お願い

三月は入試・
就職の季節で各
種診断書の必要
な方が多いと思
いますが一般
相談日以外は
受付けません
のでよく日を
確かめて来所
してください。

◎一般相談 毎週金曜日

◎母子相談 第一・三火曜
日、受付はいづ
れも九時よ
り十一時まで
です。